

2017年6月12日

## Workshop: Reading Kuzushiji -- Summer 2017- University of Chicago

荒武 賢一朗 (あらたけ けんいちろう) 東北大学東北アジア研究センター (Sendai)

[aratake@cneastohoku.ac.jp](mailto:aratake@cneastohoku.ac.jp)

### <研究テーマ>

- ◇18～19世紀の日本経済史
- ◇地域の古文書調査・研究
- ☆古文書研究の国際化  
シカゴ大学との交流 (2014年～)

### 【2017 Workshop】

- ◎初参加の皆さん＝文字に慣れましょう、読む楽しさを感じましょう
- ◎Expertの皆さん＝内容を理解しましょう、関心を広げましょう (もっと面白く！)

☆「文字をじっくり見る」＝書いてみる、声を出して読んでみる、前後の意味を考える  
「繰り返して記憶する」＝一度おぼえたら、忘れない (同じところで止まらない)

☆長い文章を確実に読む＝くずし字解読、内容の理解  
繰り返される用語、人名、地名を反復

☆いつ？どこで？何があったのか  
文書を読みながらイメージする→江戸時代日本がみえてくる  
自分なりの注目点、キーワードを見つける

### <何から始めるか？>

- ・鉛筆とノートを用意する
- ・文字を書いてみる
- ・辞書を使う

### <アメリカで日本のくずし字を読める人はどれだけいるか？>

→日本でもそんなに多くはない

○京都大学古地震研究会「みんなで翻刻 (地震史料)」 <https://honkoku.org/>